

# 南丹市教育委員会会議録

平成 30 年第 11 回定例会

(平成 30 年 11 月 14 日)

## 平成30年南丹市教育委員会第11回定例会会議録

1. 日 時 平成30年11月14日(水)  
開会 午後3時30分 閉会 午後5時00分
2. 場 所 南丹市役所2号棟 教育委員会会議室
3. 付議事件 別紙議事日程のとおり
4. 招 集 者 教育長 木村 義二
5. 出席委員 教育長 木村 義二  
教育長職務代理者 武田 義史  
委 員 高屋 毅史  
委 員 城戸 貴子  
委 員 杉尾 光明
6. 欠席委員 な し
7. 事 務 局 教育次長 中川 勇夫  
教育参事 榑 貢  
教育総務課長 福井 修  
学校教育課長 山内 紀子  
学校給食共同調理場所長 村田 文雄  
社会教育課長 寺田 成樹
8. 傍 聴 人 な し

### 日程1 開会

教育長が平成30年南丹市教育委員会第11回定例会の開会を告げる。

### 日程2 会議録作成者の指名

教育長から会議録作成者に福井教育総務課長を指名する。

### 日程3 会議録の承認

## 日程4 報告事項

### (1) 主な行事報告等

(教育次長)

- 10月26日、学力向上システム開発校研究発表会が八木中学校で開催された。八木中学校は平成29、30年度の2年間、京都府教育委員会「学力向上システム開発校」指定を受け研究、実践を進めており、その第2年次の研究発表会が、他府県からの来訪者を含め47名の参加者の下、今年度の研究主題を、「『学ぶ意欲・確かな基礎学力・問題解決力』を育む、学力向上システムの確立と発展」とし、「生徒の学びに向かう力」を高めるためには、「学びに向かう集団」の質の向上が最も重要であるとの認識に立ち、全ての教育活動を通して生徒の意欲を引き出す取組について、多くの成果の発表があった。
- 10月29日、桜が丘中学校文化祭が開催された。体育祭や文化祭はこれまで淇陽学校と合同で開催していたが、今年度から学校独自の行事として開催されることとなり、第1回目となる桜が丘中学校文化祭が講堂で行われた。文化祭では、家庭科や社会科の学習成果物の展示発表、今年度の口丹波中学校英語暗唱大会に入賞した生徒の英語スピーチ、英語による落語の発表、人権作文の朗読、音楽部の合唱が行われ、子どもたちの取組の成果が文化祭という形で発表された。
- 10月31日、小学校社会科副読本編集準備委員会を開催した。本市では、小学校3、4年生の社会科の学習において、副読本を作成し地域の学習等を行っているが、平成32年度からの新学習指導要領実施に伴い、副読本を改訂する必要があるため、今年度から本準備委員会を設置し、第1回目の会議で編集方針等の協議・検討を行った。
- 11月1日、平成30年度小学校教育研究会図画工作科教育研究大会が開催された。28年度から3年間、研究協力校として指定を受け、取組を進めてきた園部小学校において、府内各地から158名の参加を得て、盛大に開催された。各学年の授業公開では、「表現する喜びを味わう指導」を実現するために、題材を工夫したり、試行錯誤の場や相互鑑賞の場を設けたりするなどの活動の中で児童が輝く場面が見られた。昨年度から継続した取組である「全校作品展」では、1200点余りの児童作品が工夫を凝らして展示され、参加者から感嘆の声があがっていた。全体会での研究報告では、3年間の研究の成果と今後に向けた課題が明らかにされた。また、スーパーバイザーの佛教大学波多野教授の講演もあり、図画工作がめざすべきものを、具体例を示しながら分かりやすく教示いただいた。多くの学びが提供された研究大会となった。
- 11月2日、学力向上システム開発校研究発表会が殿田小学校で開催された。殿田小学校では、平成30・31年度の2年間、京都府教育委員会「学力向上システム開発校」指定を受け、研究・実践を進めており、22名の参加者の下、第1年次の研究発表会が開催された。研究主題を、「教師の授業力向上と児童の主体性・協働性を高める授業づくりの創造」とし研究を進めており、特に、「次世代の学びを支えるICT機器の効果的活用」を研究の重点としている。この研究会には、本市ICT教育研究委員会の委員である各校の情報教育主任が参加しており、殿田小学校の実践を市立各小・中学校へ広めていくこととしている。
- 11月10日、平成30年度南丹船井小学校駅伝大会、第71回京都府中学校総

合体育大会駅伝競走大会が開催された。

■ 11月13日、校園長会議を開催し、冒頭教育長より何点かの説示や報告等があった。まず1点目は遊具の定期点検について、校内の遊具の安全点検を教育委員会では定期的に毎年行っているが、安全性向上のため日々の点検について指示を行った。

2点目は来年度から本格的に実施する不登校児童・生徒の適応指導教室の開設に向けて、不登校生徒の居場所づくりのために開設するものであり、校長がさくら教室の趣旨を理解して、まず、子どもが家から出かけることの大切さも含め取り組んでほしいと説示があった。

3点目に現在開催している市政懇談会において、教育委員会に関連する意見、質問があったことを受け、報告等を行った。学校のフェンス際や鳥の糞等、学校周りの環境を美しくしてほしいという意見や、降雪時のバスの安全確保について、十分安全確認したうえで運行してほしいという意見があったことの報告とあわせて、教育長から、学校における来訪者や電話での対応について一層向上させてもらいたいことや、道徳教育の充実について、学習やスポーツに向かう気持ちは「徳」が必要であり、学習教材がマンネリ化にならないよう、教材を新しくする等工夫をしてほしいという依頼を行った。

4点目に人権研修について、差別の解消に向けて学校教育での同和学習、人権学習が大切という説示があった。

最後に、各学校の表彰等について報告があった。

桜が丘中学校の作文では京都地方法務局長表彰を受賞し、人権ポスターは、八木西、八木中が入賞、園部小学校は佳作、キッズ駅伝のポスターは八木東小学校のポスターが選ばれた。

また教育長の説示に続き、事務局より冬のインフルエンザ予防対策についての注意事項や、学校における暖房器具の取扱いについての通知、来年2月開催のスポーツ文化賞表彰式の推薦依頼を会議の中で行った。

## (2) 南丹市教育委員会の後援承諾について

(事務局)

資料に基づき報告。

## 日程5 議事

**議案第38号** 南丹市立小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

(杉尾委員)

教職員の勤務時間についてシステム上退勤した形にして、居残り業務を行うということはないのか。

(事務局)

学校長が時間の管理を行うこととなっているので、そういった状況はないと考える。

[採決]

議案第38号について教育長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

**議案第39号** 平成30年度南丹市一般会計補正予算に係る地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づく意見聴取について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

(武田職務代理者)

就学援助事業費について、小学生と中学生の一人当たりで単価が異なるのはなぜか。

(事務局)

今年度から入学前支給を実施しており、小学校に入学する児童には小学校費から支出するが、入学前支給も小学6年生に支給するため小学校費に計上するべきものであり、その組み替えを行ったことにより、中学生の単価が高くなったものである。

[採決]

議案第39号について教育長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

## 日程6 その他

- (1) 行事予定
- (2) 教育総務課から報告
  - ・第2次教育振興計画の策定について
- (3) 学校教育課から報告
  - ・南丹市いじめ防止等対策委員会重大事態発生の対応について

(事務局)

上記報告について、資料により説明。

(武田職務代理者)

第2次教育振興計画について、これからの地域振興の面で、市内の文化財や地域の景観をうまく活用することで、子どもも含む住民が、自分の住む町に誇りを持つような町づくりを行えないか。南丹市にはまだまだ日本国内に誇れる景観が残っており、市長部局の見解を考えたい。教育行政については文化財行政が強い力を発揮させていけたらと考える。また活用するための文化財や地域の景観を保存することについては、失われつつあるという点から一刻も早く進めるべき課題であると考えている。

(事務局)

地域の文化力を考える上では文化財の保存と活用も主要であり、文化財を発掘・保護するのみにとどまらず、地域の子どもたちやほかの地域の人々に知ってもらえるように市長部局と連携してまちづくりにつなげていきたいと考える。

(杉尾委員)

OECDのPISA調査の項目で、自分の良い所があるかについて日本の子どもは10%という結果も出ていることから、自尊感情の育成や将来の可能性を広げることができる自覚を子どもに持ってほしい。

また、体力づくりや仲間づくりについても子どもに学んでもらいたいという点、核家族化が進行する中で、家庭教育力を向上させていくことが必要である点も大事であると考えている。

併せて子どもにパソコンの使用のみに留まらず、内容の読み書きに強くなってほしい点や、南丹市に魅力を感じ自信を持つ子どもに育ててほしい点、自己決定をする機会や時間が大事であると考えているので、失敗しても糧として生き抜く力を育める環境を整える点が今後必要であると考えている。

(高屋委員)

南丹市にある大学等、学校に在学したことをきっかけとして南丹市に住む方が少なくないと聞いている。大学生を巻き込んだまちづくりを企画することも良いのではと考えている。

(城戸委員)

南丹市だからこそできる子育てを進めてほしいと考える。

(事務局)

ご意見を素案に盛り込んでいきたいと考える。

[次回定例会について]

(教育長)

次回の日程について12月19日(水)午後3時30分から開催としたいがどうか。

(委員)

教育長から各委員一人一人に諮り、全員一致で同意する。

(午後 5 時 0 0 分閉会)

南丹市教育委員会会議規則第19条第2項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

南丹市教育委員会教育長

---

南丹市教育委員会教育長職務代理者

---

南丹市教育委員会委員

---

南丹市教育委員会委員

---

南丹市教育委員会委員

---

(会議録調整者)

南丹市教育委員会教育次長

---